

牟岐地区におけるトコブシ漁獲物調査

天真 正勝・一ノ宮 誠・宮本 孝則*・和田 隆史*

特定海域栽培漁業強化事業の一環として牟岐地区でトコブシ漁獲物調査を実施した。

方 法

平成10年3月から6月のトコブシ漁期間にほぼ週に一回の頻度で、牟岐東及び牟岐町漁協にて漁獲されたトコブシについて、殻長をパンチカードで測定するとともにグリーンマークによる人工種苗の混獲率調査を実施した。

結 果

測定個数は14,477個で下図に示したように殻長組成は30~96mmの範囲で、50mm前半でモードが見られている。通常は50~60mmが漁獲の大半を占めるが、90mm以

上となる個体もわずかながら出現している。また、混獲率調査では放流貝と思われるグリーンマークを確認できたのは1,165個であり、その混獲率は8.75%であった。放流貝については50mm付近に平成9年度放流群と見られるモードがあり、それよりやや大きい65mm付近にも小さな山がみられ、これは平成8年度放流群と思われる。

考 察

トコブシは年齢形質が明確でなく、成長も漁場による差異が大きいと思われる。そのため、年級組成を求めるのは難しいが、放流貝の殻長組成からみると放流後1、2年で漁獲されていることから当地区での主なトコブシ漁獲年級群は2年及び3年と思われる。

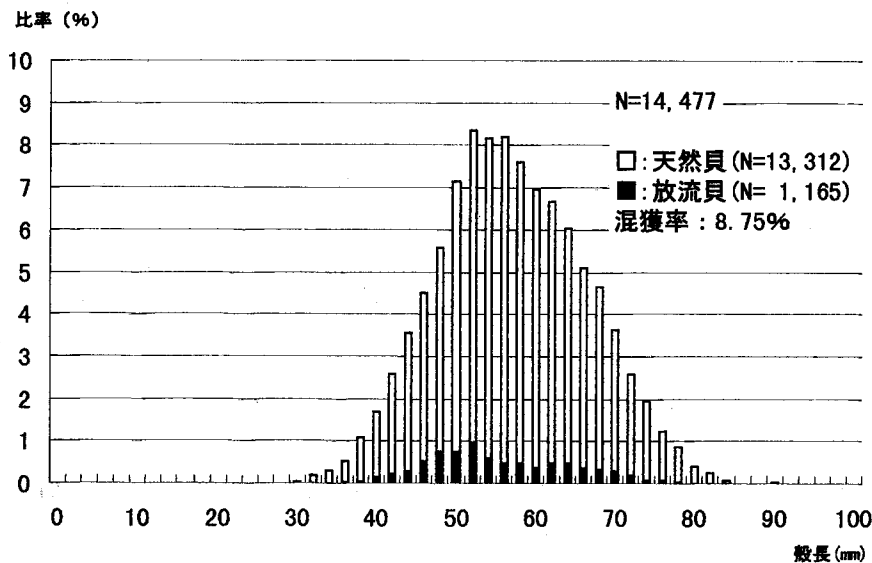


図 平成10年度 牟岐地区トコブシ漁獲量調査結果

*：徳島県水産課